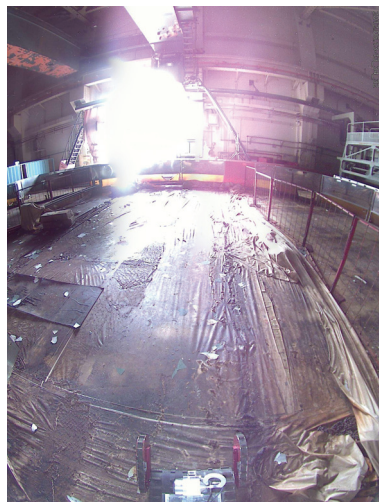


最高 880mSv / 時

福島第一2号機5F

「クインス」で調査



福島第一原子力発電所2号機建屋5F原子炉ウエル



同発電所2号機建屋5F使用済み燃料プール

東京電力は十三日、福島第一原子力発電所2号機建屋5Fの改良型「クインス」の改良型を使い調査した。

放射線量の最高値は、五階の原子炉真上部分で、毎時八百八十mSvを計測した。この付近の温度は二十・五度、湿度は七十五・三%だった。

仮の町に約半数が賛成

双葉町 町民の絆の維持が課題

東京電力・福島第一原子力発電所事故で全域避難している福島県双葉町(井戸川隆町長)は、「復興への道(案)を一月に作成し、中学生以上の全町民約千四百人を対象に約二千九百世帯宛に回答紙を送付して行ったパブリックコメント(アンケート方式)の集計結果をホームページ上に掲載した。約千八百人から回答があり、回収率は約一七%。

回答者は、男性四六%、女性五一%、あとは無回答。

現在の避難先住居は①自治体が借り上げている住宅五八・八%②自己負担の賃貸住宅九・二%③仮設住宅八・九%④その他七・九%⑤避難所(ホテル・旅館含む)五・七%⑥親戚・知人宅五・五%の順。

町の考えとして、①町民の絆をいかに継続して維持できるかが最も基本的でしかも最大の課題、②そのためには仮設住宅など避難エリア(他県含む)ごとにコミュニティ機能を再建することが最も効果的——とし、それを可能にする核となるリーダーの養成が求められるとしている。

これらの考えに対して町民は、①加須に役場があるなど県外拠点への不満(七十六件)②避難者を集めて会合・集いの機会を(六十九件)③町の考えに基本的に賛成(四十八件)④ホームページや電子回覧板などの広報を(四十七件)⑤住民のリーダーを育成し町のために働いて(四十五件)⑥情報伝達には広報誌などの郵送が有効(三十一件)⑦個人で避難している人達の不遇への不満(二十五件)⑧避難住民の住所などの情報共有化を(二十四件)⑨仮設住宅の入居者のみ優遇との不満(二十件)⑩役場職員が住民避難場所巡回などを望む(十七件)——と続く。

古里に必ず帰り町を復興することを目標にするものの、そのため手段として、町ぐるみで集団移転「時限的町づくり」(仮の町)を実施したいとの考えに対しては、①必要四八・六%②分らない二四・六%③必要でない二・八%となり、約半数の住民が「仮の町」を支持している。年齢別には、「必要」だとする人が十九・二十九歳は二八・〇%と最も少なく、七十歳以上が五五・八%と最も高く、年齢が高くなるほど「仮の町」支持層が増える傾向があった。中学生の賛成は四四・四%、高校生は三七・九%で親たちの影響が出ている可能性がある。

「仮の町」実現で特に充実を望む項目(三つ選択)は、①子供が放射能汚染から安全(三百六件)②医療施設の充実(二百七十一件)③若い世代の雇用の確保(二百十九件)④高齢者福祉の充実(百九十四件)⑤学校・教育施設の充実(百六十件)⑥交通の便(百四十四件)⑦近隣のつながりの充実(百三十九件)⑧共同施設(店舗等)の充実(九十九件)⑨その他(四十四件)——となった。

無人航空機モニタリングで協力

JAEA・JAXA

日本原子力研究開発機構(JAEA)と宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、六月から二〇一五年三月にかけて、小型無人航空機を利用した放射線モニタリングシステムについて共同研究をする。

JAEAが開発する放射線モニタリングに適した小型無人航空機技術と、JAEAが持つ無人ヘリコプター用の検出器やモニタリングシステムを改良した技術を組み合わせた。

従来の自律飛行型無人ヘリコプターを用いた航空モニタリングは、操縦者が遠隔コントロールするため目視範囲内の飛行が条件となり地表からの距離が比較的近い位置での飛行となるため、山林の奥まった場所や山林火災等の人が近づけない条件下では利用が難しいという問題があった。

原子炉主任技術者筆記試験発表

七月に口答試験

三月十二日から十四日にかけて行われた第五十四回原子炉主任技術者試験筆記試験の結果が五月三十日、発表された。十七日に判定会を行い、百二十三名の受験者のうち二十八名が合格した(合格率二二・八%)。

筆記試験合格者は、七月二十日午前九時から経済産業省別館会議室で行われる口答試験(二十九日まで)に受験申込みへ進む。同試験の合格後、原子炉主任技術者免除が交付される。

問い合わせは文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課原子力規制室(電話03・6734・4036)まで。

Leading Supplier of Nuclear Fuel Cycle Goods and Services



株式会社テネックス・ジャパン
TENEX-JAPAN Co.,

東京都港区虎の門5丁目11番2号 オランダヒルズ森タワー14F
(Tel) :03-5776-1511 (Fax) :03-5776-1512